

DAIGO

— 議会だより —

2026年

2月号

NO.224

晴れやかな門出を迎える新成人

ご成人おめでとうございます！



Contents

- | | | | |
|-------|----------------|--------|----------------------------------|
| 2-3P | 議員と話そう会 | 12-14P | あん議会の質問は今？！
<small>とき</small> |
| 4-7P | 議員活動報告・つぶやき議長 | 15-21P | 一般質問 |
| 8-11P | 令和7年第4回定例会・臨時会 | 22P | 「わくわくわたしの夢」 |
| 9P | 大子町議会政治倫理条例 | | |

令和8年2月5日発行
茨城県大子町議会

「議員と話そう会」を開催

みなさんの声 を伺いました

議会では、町民のみなさんの声を町に届け、まちづくりに生かす取組として「議員と話そう会」を継続して行っています。

今回の話そう会では、「大子町身体障害者福祉協議会」のみなさん、「やみぞ会」のみなさんから、それぞれのテーマを基に日常生活で感じている疑問や課題、町への提案などを伺いました。

◆ 身体障害者福祉協議会のみなさんとの意見交換

「身体障がい者福祉について」をテーマに、移動手段に関する困りごとや、日常生活で感じる課題など、率直なご意見を伺いました。普段伝えにくい内容についても共有いただき、議員にとっても現状を理解する貴重な時間となりました。



◆ やみぞ会との意見交換

「どうする大子町」をテーマに、かつて議員として町を支えてきた方々と意見交換を行いました。現役議員にとっては、議会運営や政策形成など改めて考え、見つめ直す機会となり、「これからの大子町をどう描くか」を共有する時間となりました。



大子町身体障害者福祉協議会のみなさんについて

議員と話そう会では、身体に障がいのある方やそのご家族から、日頃の生活や活動についてお話を伺いました。その中で、地域で支え合う取組を続けている大子町身体障害者福祉協議会の活動についてお話を伺いましたのでご紹介します。

【1 団体の概要】

設立

昭和33年4月

会の目的など

会員相互の親睦をはかり、“健康・友愛・社会参加”を基本に「生活を豊かにする楽しい活動」「地域と共生する社会参加活動」に取り組み、障がいを克服し、健康で生きがいのある生活の実現と、身体障害者福祉の健全な発展に寄与することを目的に活動しています。

会員構成や会員数

令和7年度会員数 55名（うち正会員23名 賛助会員32名）

【2 主な活動内容】

日頃行っている活動は

グラウンドゴルフ大会や各種ユニバーサルスポーツ体験等を実施しています。

交流・支え合いの取り組みは

障がい者福祉についての研修会参加・新年会の開催をしています。

その他の活動は

茨城県身体障害者福祉協議会が主催する事業へ参加しています。

【3 活動を支える会員】

大子町身体障害者福祉協議会では、身体に障がいのある方やそのご家族とともに、地域での支え合いの活動を続けています。

役場福祉課や社会福祉協議会（文化福社会館まいん内）の窓口で会員募集の案内もお渡ししていますので、活動に賛同又は一緒に活動してみたい方は、ぜひ事務局までお気軽にお問い合わせください。

【4 お問い合わせ先】

事務局 社会福祉法人大子町社会福祉協議会

電話番号 72-2005



グラウンドゴルフ大会



ボッチャ大会

議員活動を報告します！

11月、12月、1月は主に次のような議員活動を行いました。

※一部抜粋

11月	<ul style="list-style-type: none"> ・議会だより No.223号 発行〔広報委員〕 ・福島県三春町議会行政視察受入〔議長〕 ・町村議長会全国大会〔議長〕 ・定例全員協議会〔全議員〕 ・岐阜県美濃市議会行政視察受入〔各議員〕 ・議会運営委員会及び全員協議会〔議会運営委員・各議員〕 ・大子町身体障害者福祉協議会との議員と話そう会〔全議員〕
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・第4回定例会〔全議員〕 ・交通安全街頭キャンペーン〔議長〕 ・予算・決算委員会自主研修会〔全議員〕 ・やみぞ会との議員と話そう会〔全議員〕 ・常任委員会現地視察（袋田の滝）〔各議員〕 ・議会運営委員会及び全員協議会〔議会運営委員・全議員〕
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・第5回臨時会〔全議員〕 ・定例全員協議会〔全議員〕 ・新春のつどい〔全議員〕 ・行政視察（福島県天栄村及び会津若松市）〔各議員〕



町のこと、世の中のことなど、日々のちょっとした出来事や感じたことを議長がゆるっと”つぶやく”コーナーです。真面目な話しだけでなく、ちょっと笑えるひと言もあるかも？！ぜひ、ご一読ください。



情報社会で迎えた丙午の年

私は、人生で初めて丙午という年を経験する。60年で巡ってくる丙午の翌年に生まれたので、未経験年数が最長の世代なのだ。

江戸期の迷信により、丙午の年になると出生数が低下したが、今回は影響が少ない予想だ。多様な情報を各自が入手できる現在は、迷信は希薄化してしまうのだろう。

スマホの検索によると、【丙】と【午】どちらも「陽の火」なので、二つが重なる丙午はエネルギーに満ち溢れた年、と解説がある。迷信のおかげでネガティブな年と思っていたが、真逆に情熱的な年だったのだ。

定番のダジャレ「ウマくいく年」どころか「ものすごくウマくいく年」になるかもしれない。思い切ってチャレンジす

連載

つぶやき議長

大森勝夫

ることが良い年にする秘訣といえよう。

大子町では今年の秋に「防災道の駅」がオープンする。人気のアウトドアショップもできるので集客に期待している。また、全天候型の屋外ステージも併設されて人々の集う場所も新たに増える。これら施設の竣工は、令和元年の水害から復興を果たした町の象徴になるはずである。

久慈川の堤防や道路・橋の整備と新設、新たな施設の開業など、大子町は躍進しているとの声が周囲から届けば、町民のプライドも高まる。高齢化や人口減の急激な好転化は厳しくても、町民が郷土に誇りを持つことで、未来へ向けた一歩が力強く踏み出せるはず。

丙午の今年は大子町が「ものすごくウマくいく年」になることを願ってやまない。

大子町へようこそ！（行政視察）

■熊本県南阿蘇村議会



10月28日に熊本県南阿蘇村議会の行政視察を受け入れました。

視察テーマは、「子育て支援の取組について」、「移住・定住施策の取組について」でした。



■山形県白鷹町議会



10月29日に山形県白鷹町議会の行政視察を受け入れました。

視察テーマは、「子ども議会について」、「議員と話そう会について」、「議員のなり手不足対策について」でした。



■福島県三春町議会



11月6日に福島県三春町議会の行政視察を受け入れました。

視察テーマは、「A | 乗合タクシーたくまるについて」でした。



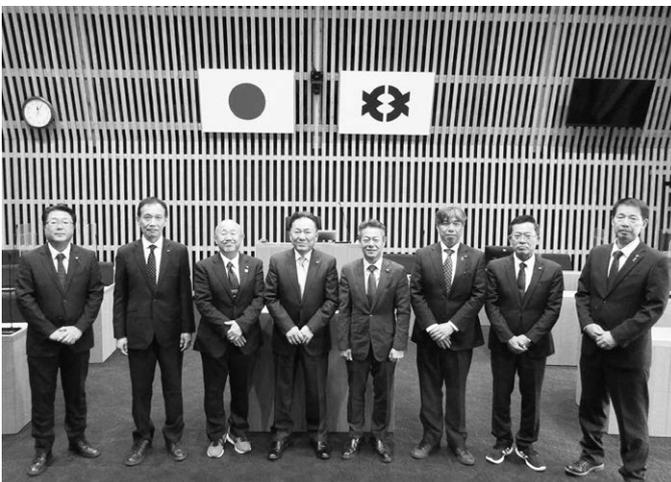
■岐阜県美濃市議会



11月18日に岐阜県美濃市議会の行政視察を受け入れました。

視察テーマは、「A | 乗合タクシーたくまるの取組について」、「大子那須楮栽培の取組について」、「純木造の役場庁舎の取組について」でした。

また、午後には大子那須楮の現地視察を行いました。



午後の現地視察では、楮の栽培状況や生産工程などを大子那須楮保存会 会長 齋藤邦彦氏から質疑を交え、研修をさせていただきました。



大子那須楮は、本美濃紙や越前奉書などの和紙の原料として最高級の品質です。

しかし、喫緊の課題として

「担い手」(後継者) が減少しており生産維持が危機的状況となっています。

主な作業内容は、

6月～10月頃 ・ **芽かき** (茎から出てくる脇芽を一個ずつ手で摘み取る作業)

12月～3月頃 ・ **刈取り・皮むき** (収穫した枝を蒸して、表面の皮を剥がす作業)

表皮とり (皮の表面を小刀で削り、白い繊維層だけにする作業)

伝統文化継承のためにも、ご興味ある方は、大子那須楮保存会事務局(農林課 ☎72-1128)

までご連絡をお願いします。



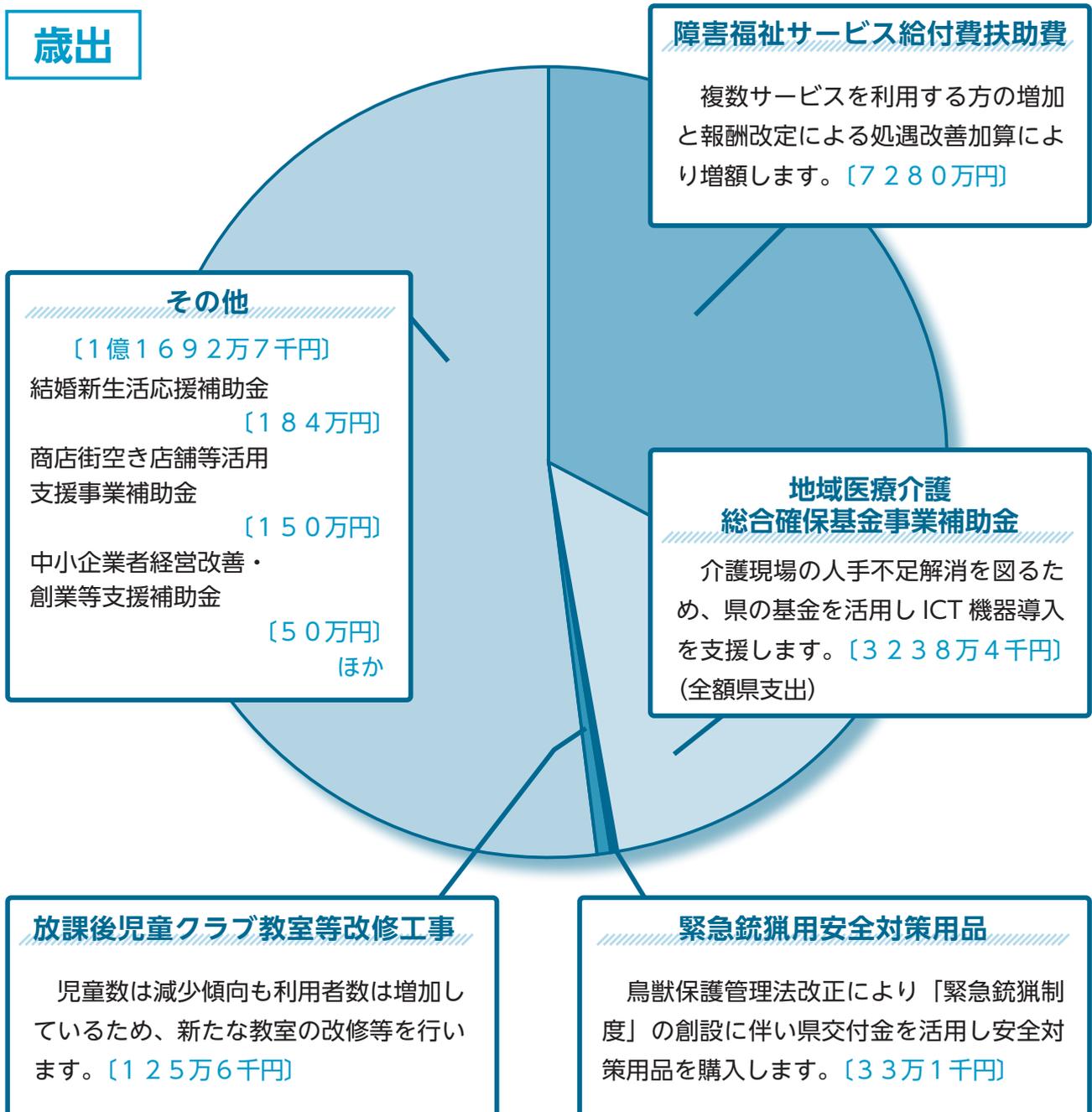
令和7年 第4回定例会

令和7年第4回定例会が、12月3日から11日までの9日間の会期で開催されました。令和7年度大子町一般会計補正予算など町長から提出された議案10件について、すべての議案が全会一致で原案どおり可決されました。

【補正予算額 2億2369万8千円】

歳入	補正額
地方交付税	1億5831万7千円
国・県支出金	1億9045万3千円
繰越金	△1億6673万2千円
その他	4166万円

歳出



「大子町議会政治倫理条例」 が4月から施行されます！

第4回定例会では、議会から議員提出議案として新しい条例の制定と議員の派遣についての2件が提出されました。新しい条例「大子町議会政治倫理条例」は、議員が町民の皆様からの厳粛な信託を受けた立場であることを深く認識し、より清潔で民主的な町政を実現するため、令和8年4月1日から施行されます。（※現行の「大子町政治倫理条例」は同年3月31日で廃止となります。）

新たな条例の
ポイントを
解説します



1. 議員が守るべき政治倫理基準

議員は町民全体の代表者として、次の事項を遵守することを誓います。（抜粋）

- ①品位の保持：議会への信頼を損なうような行為をしないこと
- ②地位の利用禁止：権限を濫用して、自分や特定の人利益を図らないこと
- ③金品の授受禁止：公正さを疑われるようなお金や物のやり取りをしないこと
- ④不当な働きかけの禁止：町の契約や処分に関し、特定の者に有利になる働きかけをしないこと
- ⑤ハラスメントの禁止：セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、人権侵害を行わないこと
- ⑥法令遵守：公職選挙法などの法令を遵守し、買収や寄附などの疑いを持たないようにすること

2. 町との請負契約の透明化

議員は地方自治法及び施行令で定める範囲で町と請負契約を結んだ場合、議長への報告が義務付けられます。

報告内容：契約日、金額、内容（例：施設の修繕工事など）。

情報の公開：報告された内容は整理され公表されます。

3. 調査と審査

議員に倫理基準違反の疑いがあるときは、事実関係の調査と審査を行います。違反が認められた場合は、議長による勧告などの厳正な措置が講じられます。

時代に即した政治倫理を

この条例は、議会が常に町民の皆様視点に立ち、信頼される存在であり続けるための指針です。制定して終わりではなく、時代の変化やハラスメント防止など社会のルールに対する意識の高まりをしっかりと受け止め、議員一人ひとりが責任を持って行動しながら、より誠実で開かれた議会運営に努めてまいります。

第4回定例会 提出議案等と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第102号	児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	原案可決
議案第103号	大子町中小企業事業資金融資あっせん条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第104号	大子町文化福祉会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決 ※
議案第105号	大子町火災予防条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第106号	令和7年度大子町一般会計補正予算（第7号）	原案可決
議案第107号	令和7年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第108号	令和7年度大子町介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第109号	令和7年度大子町介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第110号	令和7年度大子町浄化槽整備事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第111号	令和7年度大子町水道事業会計補正予算（第4号）	原案可決
議員提出議案第4号	大子町議会政治倫理条例	原案可決
議員提出議案第5号	議員の派遣について	原案可決

※は賛否がわかれた議案

議案の賛否状況

採決にあたり、意見が分かれた議案の賛否状況をお知らせします。

議 案 番 号	議 案 名	賛否数		議 員 名										
		賛 成	反 対	介 川 秀 男	高 村 和 成	根 本 厚 子	飯 村 剛	川 井 正 人	福 田 祥 江	須 藤 明	菊 池 靖 一	佐 藤 正 弘	大 森 勝 夫	齋 藤 忠 一
104号	大子町文化福祉会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	9	1	○	○	○	○	○	○	○	○	×	-	○

※○＝賛成、×＝反対、－＝議長（大森勝夫議長）は採決に加わりません

令和7年 第4回臨時会

第4回臨時会が10月27日に開催され、建設中の防災道の駅に整備される耐震性貯水槽（災害時の飲料水を貯めるタンク）の工場請負契約のほか議案3件が可決されました。

第4回臨時会 提出議案等と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第98号	耐震性貯水槽整備工事請負契約の締結について	原案可決
議案第99号	中心市街地管渠敷設及びまちなか回遊散策路整備工事請負契約の締結について	原案可決
議案第100号	大子町固定資産評価審査委員会委員の承認について	原案承認
議案第101号	令和7年度大子町一般会計補正予算（第6号）	原案可決

大子町固定資産評価審査委員にさいとうのりお齋藤範夫さんを承認

大子町固定資産評価審査委員会委員の佐久間勝海さんが退任され、その後任に齋藤範夫さんを承認しました。任期は令和7年10月1日から令和8年10月11日までです。

令和7年 第5回臨時会

第5回臨時会が12月24日に開催され、物価高騰対策生活支援給付金（物価高騰対策として全世帯に現金を給付）ほか議案7件が可決されました。

第5回臨時会 提出議案等と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第112号	大子町職員の給与に関する条例及び大子町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第113号	令和7年度大子町一般会計補正予算（第8号）	原案可決
議案第114号	令和7年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第115号	令和7年度大子町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第116号	令和7年度大子町介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第117号	令和7年度大子町介護サービス事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第118号	令和7年度大子町浄化槽整備事業会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第119号	令和7年度大子町水道事業会計補正予算（第5号）	原案可決

あん議会の質問は今？！

今まで議会で質問してきた事業が、その後どのように行われているか、現在の状況をお知らせするコーナーです。

今回は一気にご紹介します！

「文化福社会館まいんの使用改善について」

【あん議会の質問】



議員

文化ホールは利用者が100人未満だと使えない。料金を払ってでも利用したいという声があるが条件見直しはできないか。

【その時の回答】

執行部



今後、近隣市町村や同規模施設の事例を研究し利用条件の見直しを検討する。

令和8年4月1日から
「まいん」がより使いやすくなります！

まいんの設置や利用に関する条例が改正されることになり使用条件として人数制限等がありましたが、目的に応じて1人からでも利用しやすく使用料が変更されます。

また、イベント等で入場料等をとる場合の会場使用料の軽減、観光交流ホールの区画ごとの使用や会議室等の使用料の見直しが行われ、より利用しやすい施設となります。

人数や利用に合わせて使いやすくなって、活動や交流が広がることを期待されます。



「農機具購入の補助について」

【あ^とん議^き会の質問】



議員

小規模農家が共同で農機具を購入しやすくするために、町独自の補助制度は作れないか。

【その時の回答】

執行部



高齢化や担い手不足が進む中、既存の国・県の制度も活用しながら、地域の実情に合った支援を検討したい。

農業機械共同利用支援事業補助金制度が新設！

複数の主食用米作付農家が共同で利用する農機具の購入に対し、費用の2分の1（上限50万円）を補助する制度で、中古の農機具も対象となります。

※事業の詳細は農林課(☎72-1128)までお問い合わせください。



農業の継続や耕作放棄地の防止に加え、ふるさと納税の返礼品としての米の安定確保にもつながってくれるといいね！



「大子福祉作業所の環境改善について」

【あん^{とき}議会の質問】

 **議員**

移転後の建物では厨房のエアコンの効きが悪く、トイレや作業スペースが狭い。環境改善はできないか。

【その時の回答】

執行部 

建物の経年劣化も踏まえ、運営主体の社会福祉協議会と協議し対応を検討したい。

社会福祉協議会と担当課の協議検討の結果、厨房へのエアコン設備の移設費用、作業スペース確保のための物置設置が補正予算で計上され、環境改善に向けた取組が進められることになりました！

「補聴器購入時の助成について」

【あん^{とき}議会の質問】

 **議員**

高齢者の難聴は認知症のリスクにも関係すると言われる。補聴器購入に対する助成を検討してはどうか。

【その時の回答】

執行部 

他市町村の制度を参考にしながら令和8年度の実施を目指して前向きに検討する。

高齢化が進む中、難聴への支援は健康寿命の延伸にもつながります。実現すれば、高齢者の暮らしやすさを支える大きな一歩となりそうです。

令和7年 第4回定例会

町政に **ここが聞きたい!これを言いたい!**

6人の議員が一般質問

質問内容	ページ	質問者
公共交通手段の予約方法の一本化は	P.16	高村 和成 議員
担い手不足・事業承継の支援対策は		
特定技能外国人人材活用についての対策は		
物価高対策の取組は	P.17	川井 正人 議員
文化福祉会館の設置及び管理に関する条例改正は		
大子町商店街への冬の観光誘客を		
八溝山の景観対策と道路整備は	P.18	佐藤 正弘 議員
大子町身体障害者福祉協議会への町の支援は		
来年度予算の編成にあたって重要施策は		
太陽光発電設備の農地転用許可が出る土地は	P.19	根本 厚子 議員
防犯カメラの設置補助を願う		
消防庁舎の建替は	P.20	福田 祥江 議員
避難所運営の訓練は		
デジタルツールの活用を積極的に	P.21	飯村 剛 議員
大子那須楮の知名度向上を図るには		
返礼品「草刈り代行サービス」の周知を		

一般質問とは・・・

「一般質問」とは、議員が町の課題や町民の声をもとに、町に直接質問をする場のことです。町の考えや方針を確認し、改善や取組へとつなげていく大切な機会です。

- ・ 町民の声や町の課題を取り上げる
- ・ 町政の考えや方針を確認する
- ・ 改善や新しい施策を提案する など



傍聴のススメ

議会傍聴の手続きは、当日受付で簡単にできますのでお気軽にお越しください!

ステップ1



議会棟入口から入る

ステップ2



受付で受付票に氏名・住所等を記載し受付箱へ入れる

ステップ3



いざ傍聴席へ♪

問 公共交通手段の予約方法の一本化は

【答】今年度中に実現できる見込み



高村和成 議員

の予約サイトへ進める窓口の一本化の実施をする予定であり、今年度中に実現できる見込みとなっている。

担い手不足・事業承継の支援対策は

【高村】日本国内において、働き手不足、後継者不足は大きな問題となっており、大子町もこの問題に直面している。最近では施設の老朽化・担い手等が見つからず廃業を選択する事業者も多い。大子町では安心して

事業を継続できるよう支援は行っているか。

【観光商工課長】町内事業者を対象に調査を実施したところ、「自分の代で廃業する予定」と回答した割合が約30%であった。今後廃業される事業者が増加すると予想される。町では現在、支援策として民間企業が運営する事業継承のマッチングプラットフォームの活用、「茨城県事業承継引継ぎ支援センター」と連携した個別相談会の開催に取り組んでいる。

【高村】これまでに後継者が見つかった事例はあるか。
 【観光商工課長】町内にも実際に後継者が見つかり事業承継が進んでいる成功例もある。

特定技能外国人材活用についての対策は

【高村】大子町内も、外国籍の働き手「技能実習生」を見かけるようになった。意見交換会等でも事業者から雇用を考えているとの声もある。しかし、雇用する

際に様々な費用が発生し、申請も複雑であると聞いている。町では相談会等の支援を行っているか。

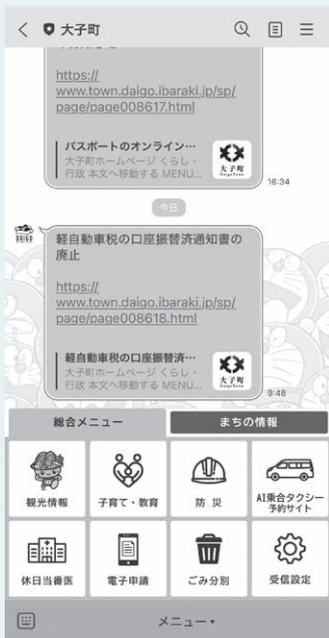
【観光商工課長】町では「外国人材活用」をテーマに技能実習制度や補助制度について説明会を実施した。参加事業者17社と関心は高くなり高いと考える。また、農業でも「特定技能外国人材活用」について基礎的な内容、他地域での事例紹介の講演を行ったところであり、今後も町内で実際に活用した事例も増加する可能性がある。

【高村】今後、雇用が増えるなかで文化の違いから、近隣との様々な問題が発生すると予想されるが、対策は考えているか。

【観光商工課長】実際に他地域で近隣住民となじめない状況もあると聞いている。大子町としてもそのような時にどう対応するのか町全体で考えていく必要がある。衣食住の適切な対応含め商工業を推進するものとして大子町商工会と共に連携して対処していきたい。

【高村】大子町には「AI乗合タクシー」「レンタサイクル」「カーシェアリング」等様々な交通手段がある。予約方法など年々改善簡素化していることは実感できている。しかし、それぞれの予約サイトを検索する必要がある、とても分りにくい。以前にも質問したが、これらの予約方法を一本化することはできないか。

【まちづくり課長】今後の取り組みとして、システム自体の統合は今のところ難しいと考えている。しかし、「大子町アプリ」から各々



LINE公式アプリ



大子町公式アプリ

問 物価高対策の取組は

答 国から交付額内示があり次第議会に示す



川井正人 議員

【川井】町は物価高対策として商品券の配布や現金給付、水道料金等の減免等の対策を考えているか。

【財政課長】国から交付額が示されていないが、今後内示があり次第事業内容を含め速やかに議会に示す予定である。なお、本交付金による国の経済対策の効果がいち早く町民に及ぶよう考えており、早ければ年内に議会へ補正予算案の提出をお願いする場合もある。

【川井】現金給付のようなスピード感がある施策、そして、平等に町民の生活を支える施策の実施をと思う。

交付金の金額が未定であるが、未定の段階でもある程度の支援金の割合というの示されていると思う。その中で支援策を先に進めていくべきではないかと考えるが。

【財政課長】支援金の額が示されていない中でも先行的に活用している自治体、やるうとしている自治体はある。食料品や水道光熱費の高騰等その家庭の状況により様々であると理解している。提案の現金給付も視野に今後検討していく。

文化福祉会館の設置及び管理に関する条例改正は

【川井】文化福祉会館の料金設定の改定は十分に検討されたのか。



大子町の文化発信拠点「まいん」

【福祉課長】県内外のホールの料金を調査し、その上で同規模ホールの使用料を参考に地域性や施設の規模を考慮した上で検討した。指定管理者の社会福祉協議会とも現在の使用状況を踏まえ協議を重ね、十分検討したと考えている。

【川井】人々は文化を求め

る、文化のある町は減びないという信念が私にはある。今回の改正で町民価格の設定はないが、今後町民を優遇した使用料金を設定していく考えはあるのか。

【福祉課長】今回は条例の一部改正を審議していた。今後については研究を重ねていきたいと思う。

大子町商店街への冬の観光誘客を

【川井】町は道の駅、大子駅前2つのイルミネーション事業を行っているが、各々の費用対効果は。

【まちづくり課長】過去のまちなかイルミネーション事業の実績と観光庁で出されている旅行・観光消費動向調査を基に算定すると、このイルミネーションだけを目的に来訪した人数は、事業全体として期間中約3000人、観光消費額は約5960万円を見込んでい



SLライトアップ

【川井】町民にクリスマスツリーを飾ってもらうなど町民参加型、コンテスト形式のイルミネーション構想は考えられるか。

【まちづくり課長】町民参加型のクリスマスツリーコンテストは、大変有意義な提案だと思う。課題はあるが、大子町観光協会や商店街の協力を得ながら、持続可能で地域全体のにぎわい創出につながる取組として今後しっかりと検討したいと考えている。

問 八溝山の景観対策と道路整備は

答 主要道の早期整備に向け要望していく



佐藤正弘 議員

〔佐藤〕 八溝山の景観対策と八溝山に至る吉の目地内、小田貝地内、磯神地内、八溝山公園線までの道路整備はどの様になっているのか。

〔観光商工課長〕 八溝山展望台からの眺望景観については、福島県側は、所管の森林管理署から国有林における自然環境保護の観点から伐採などは非常に困難と言われている。茨城県側は、土地の所有者の意向を考慮する必要がある。主要地方道大子那須線の道路整備の蛇穴工区は今年度中に完了予定である。その他の工区

については地図混乱地が原因で休止していたが、国土調査が完了し地域住民の要望をいただいていることから、茨城県に対し早期に事業再開となるよう整備促進を要請している。早期整備に向け引き続き要望していく。



八溝山の景観対策が望まれる

大子町身体障害者福祉協議会への町の支援は

〔佐藤〕 大子町身体障害者福祉協議会と議員と話そう会が行われた。町の身体障害者福祉協議会との関わり方は。

〔福祉課長〕 大子町に設置している大子町地域自立支援協議会に、大子町身体障害者福祉協議会の代表者が委員の1名として参加し、障がい者、障がい児の課題を協議していただいている。本会は、大子町社会福祉協議会に事務局を置き、町から団体運営に係わる費用の一部を補助金として交付している。

〔佐藤〕 大子町身体障害者福祉協議会は、身体障がい者の福祉の

増進、会員相互の親睦を図ることを目的に昭和33年に設立されたが、現在では大幅な会員減少の中で運営されている。高齢化

や家族の事情、プライバシー保護などの観点もあり会員拡大の妨げになっている。障がい者の要望や意見の集約、日常的な結びつき、親睦など行政では限界があり重要な役割を担っている。

そこで、町として身体障害者手帳保有者に大子町身体障害者福祉協議会の取組の送付、広報等に掲載するなど行えないか。

〔福祉課長〕 社会福祉協議会から町に広報内容等を提出してもらえば、広報等に掲載することも可能かと思う。また、手帳の更新時期にチラシ、案内等を入れることなど対応可能などころは進めていく。



第7次大子町総合計画

来年度予算の編成にあたって重要施策は

〔佐藤〕 高梨町長の任期は令和8年12月までである。来年度予算編成にあたって重要な施策は。

〔財政課長〕 第7次大子町総合計画に基づき、町が目指す将来像の実現に向け重点施策を積極的に展開していく。予算編成においては、扶助費などの義務的経費は維持し、財政健全化にも努めながら、社会情勢などを見極めた上で政策的な事業を検討している。

その他の質問

歴史、文化遺産等の公開、図書館の施設整備について

問 太陽光発電設備の農地転用許可が出る土地は

答 農業委員会で審査を行い判断している



根本厚子 議員

〔根本〕 町内の田畑の土地を過去5年間で農地転用許可による太陽光発電設備の設置面積は。

〔農林課長兼農業委員会事務局長〕 令和2年度は約0・7ha、3年度は許可案件なし、4年度は約2・9ha、5年度は約2・9ha、6年度は約4・7haで、太陽光発電設備への農地転用許可面積合計は約11・2haとなる。

〔根本〕 農地転用許可が出るのはどのような土地か。
〔農林課長兼農業委員会事務局長〕 農地法に基づい



農地転用による太陽光発電設備設置の不安解消を

た許可基準により農業委員会で審査を行い判断している。なお、許可が下りない農地は、例えば農用地（青地）と言われるものと生産力が高くまとまった優良農地である一種農地または地域計画該当地は原則許可をしない基準がある。

〔根本〕 大規模太陽光発電

所は大雨の時のリスクや優良農地等への被害、自然景観への影響など地域住民の生活に直結する懸念がある。現状、町内のゴルフ場跡地や木を伐採し造成工事をした山林の大規模太陽光発電所の箇所と面積は。

〔生活環境課長〕 大子町内に9件あり、そのうち2000KW以上は、小生瀬地内の大子ヴィレッジ太陽光発電所で総敷地面積約136ha、パネル設置面積約43ha、外大野・内大野地内の袋田太陽光発電所で総敷地面積約126ha、パネル設置面積約42ha、小生瀬地内の茨城大子町太陽光発電所で総敷地面積約35ha、パネル設置面積約11haの3件である。

〔町長〕 役所でできる範囲は一定の許可基準を満たすと許可せざるを得なく、

国の制度も変わっていかないと今の不安はなかなか消せない。町民の方々が相談や質問を役所にしていただくのは結構であるが、今のこの制度には限界があるので、それらのことを踏まえ、国や県にソーラー事業に関する規制強化のお願いが始まったところである。



空き巣や侵入窃盗への対策の必要性

防犯カメラの設置補助を願う

〔根本〕 町内において迷惑電話や特殊詐欺の話があります。最近では盗難や侵入窃盗が多いと聞く。この2年間被害件数は。

〔生活環境課長〕 大子警察署によると令和6年1月から12月までの空き家や居宅店舗等の侵入窃盗の被害届6件、空き家等への被害相談9件の合計15件、令和7年1月から10月までの侵入窃盗の被害

届12件、被害相談22件の合計34件と聞く。
〔根本〕 昨年と比べると倍以上で、高齢者世帯は特殊詐欺の標的であると同時に盗難や空き巣被害になりやすいので、防犯カメラ設置補助はできないか。

〔生活環境課長〕 防犯用品については防犯フィルム等の設置など高額なものでなくとも効果を発揮するものもあると聞く。防犯カメラを含む用具等購入の補助については、必要性や費用対効果を踏まえながら研究していきたい。

その他の質問
集団検診について
AI乗合タクシーたくまるについて

問 消防庁舎の建替えは

答 治水事業終結を日途に方向性を出す



福田祥江 議員

【消防長】今後、町が計画している他の事業との関連性を考慮し、建替え、移転等の協議を進めていかなければならないと考えている。

【町長】町民の命と財産を守る大切な施設として町民へ説明したうえで、久慈川緊急治水対策プロジェクトが終結する頃に方向性を出していきたい。

【福田】消防庁舎は竣工後46年が経過し設備が不十分に感じる。まず職員の仮眠室の状況は。

【消防長】当直勤務は最低人員9名。消防庁舎には仮眠室が2室あり、1室目は最大使用人数3名、2室目は最大使用人数8名である。

【福田】当直をする女性職員が入職した時に仮眠室はあるか。

【消防長】女性用仮眠室はないが、今後の勤務実態に合わせて検討していきたい。

【福田】消防庁舎の建替え等についてどのように考えているか。



築46年の大子町消防本部

避難所運営の訓練

【福田】災害が予測される時や発災直後には混乱が予想される。避難所の開設手順は。

【総務課長】26の町有施設を指定避難所として登録している。そのうち12か所は職員を配置する基幹避難所としている。基本的には職員2名、機能別消防団員1名の3名態勢で開設しており、避難発令が必要となった場合、対象地区の避難所担当職員が速やかに準備して、迅速な避難所開設ができるように努めている。

【福田】地区ごとに担当職員が決まっているが、自主防災組織や防災士と共同で避難所開設訓練はできないか。

【総務課長】一部の地域で

5-1 資機材の入手
施設の安全点検後、事務用品BOXを入手せよ

事務用品BOXの入手

□事務用品BOXの中身を確認する



事務用品BOX内資機材一覧

ハンド型メガホン	油性マーカー（8色）	コピー用紙（500枚）
懐中電灯	ペグシル（鉛筆）	【様式3】避難者名簿
ラジオ	バインダー	除菌消臭剤
電卓	ハサミ	使い捨て手袋
養生テープ	避難所開設・運営ガイドライン	活性炭マスク

わかりやすい避難所開設手順
(参照：他自治体のアクションカード)

は行っている。防災関係者が連携して避難所開設訓練を行うことで、より実践に近い人員配置による訓練となり実災害に向けた連携構築が図れるものと考えている。

【福田】避難時に手伝いが必要な要支援者の把握をしているか。

【総務課長】市町村は災害対策基本法により、避難行動要支援者の把握に努め、名簿の作成が義務づけられている。民生委員・児童委員などの協力を得て支援者候補者リストを作成し、職員が自宅を訪問し、同意された方を避難行動要支援者として登録している。避難行動要支援者のリストは情報管理について誓約書を交

わしたうえで、自主防災組織の会長、行政連絡区長、避難支援者、社会福祉協議会、民生委員・児童委員、大子警察署と共有している。

【福田】避難所の中にもバリアフリー施設がある。その様な施設を町民に周知したかどうか。

【総務課長】バリアフリー環境になっている避難所は、基幹避難所で4つ、その他避難所は4つである。事前に周知することでスムーズな避難が可能になると考える。今後、ホームページ掲載、ハザードマップ上への表記など対応をしていきたい。

問 デジタルツールの活用を積極的に

答 特性に応じた活用に努める



飯村 剛 議員

名で行っている。業務が重なる際には他職員も自ら投稿を行い連携して取り組んでいる。

【飯村】観光誘客での魅力発信に繋がる戦略的な工夫は。

【まちづくり課長】地域の特性を生かした「アウトドア」「食」「農」をキーワードとしたコンテンツの充実・開発に取り組んでいる。また、第3期大子町総合戦略を作成して関係人口、定住人口につながる動線づくりを進めていく。

大子那須楮の知名度向上を図るには

【飯村】「大子那須楮」の振興には、国内最高級の原料の産地大子町とユネスコ無形文化財に登録された「本美濃紙」の産地美濃市との連携が重要である。先月、



美濃和紙

美濃市議会も研修視察に訪れた。これまでの美濃市との取組は。

【農林課長】本美濃和紙保存会とは紙すき職人が毎年訪れて、夏の芽かき、冬の収穫加工において和紙加工に関わる立場からアドバイザーを頂いている。また、美濃市で毎年2月に開催される研修会に参加し、産地間の連携強化に努めている。

と展望は。

【農林課長】次年度の町内小・中学校の卒業証書を大子那須楮の原料とした美濃和紙で作成する。また、美濃市から手すき和紙職人を派遣して頂き、手すき教室の開催、既存のイベントでのコラボレーション企画の連携事業を進めて行きたい。

返礼品「草刈り代行サービス」の周知を

【飯村】町のふるさと納税では、町内の空き地や庭の草刈りを代行する「利用クーポン券」が返礼品として新たに提供された。サービスの内容は。

【まちづくり課長】寄付額に応じて5千円から5万円までの設定がある。対象サービスは（草刈り・お墓掃除・家の片付け、窓拭き、清掃など）シルバー人材センターが町内で各種提供する。

返礼品紹介




大子町
シルバー人材センター
利用クーポン券

茨城県大子町内対象 **5,000円分**

ふるさと返礼品

【飯村】遠方に住んでいる方や多忙で時間がなく管理ができない方々にとって魅力的な返礼品の提供事業だと思う。周知はどのように行っているか。

【まちづくり課長】各ふるさと納税サイト、広報だいで11月号に掲載を始めたところである。今後は周知をさらに強化して、町の魅力向上と活性化に繋がっていきたい。

— 大子っ子の夢、応援しています —

わくわく わたしの夢



大子中学校 3年
肥後 郁哉さん

私の将来の夢は、大好きな野球をずっと続けてやっていくことです。そのためにも野球の基本や細かい動きを勉強していきます。中学から野球を始めましたので最初はルールもわからなく先輩に頼ってばかりでしたが、今では少しは頼ってもらえるようになったと思います。

今は、毎日家に帰ってから父と一緒に野球の練習に励んでいます。野球の細かいルールや技術など

どを分かりやすく熱心に教えてくれたのは父です。父は小、中、高と野球をやってきました。今は私も高校で野球をやろうと考えています。だから、今まで教えてきてくれたことを活かして、いいプレーを見せられるよう頑張りたいです。

議会を視聴しよう！

大子町議会は、パソコンやスマートフォンで議会の様子を見ることが出来ます。定例会や臨時会の様子を生中継するとともに、録画配信も行っていますので、是非ご利用ください。

□ ホームページからは

議会中継と入力してクリック

□ スマートフォンからは



カメラ機能で読み込む

FMだいたい(77.5Hz)でも一般質問の様子を聴くことができます。生放送のほか録音放送も実施していますので、是非お聴きください。

放送日や時間などはFM放送等でお知らせします。



3月定例会開催予定

- 3月定例会開催予定
- ▽ 3月4日(水) 開会
- ▽ 5日(木) 休会
- ▽ 8日(日) "
- ▽ 9日(月) 一般質問
- ▽ 10日(火) "
- ▽ 11日(水) 予算・決算委員会
- ▽ 12日(木) "
- ▽ 13日(金) 逐条審議会

※予定ですので変更となる場合があります。詳細は議会事務局にお問い合わせください。

大子町議会広報委員会

- 委員長 川井 正人
- 副委員長 高村 和成
- 委員 高村 秀男
- 委員 川 秀男
- 委員 根本 厚子
- 委員 飯村 剛
- 委員 大森 勝夫
- 委員 須藤 明

あとがき

2025年の世相を一字で表す「令和7年漢字」が「熊」に決まった。各地で出没し人的被害が相次いだことに加え、「熊猫」と表記されるパンダの中国返還にも注目が集まったことが選定理由とされている。

昨年6月には当町でも熊の目撃が確認されており、10月初めの福島県棚倉町地内での熊捕獲、栃木県大田原市地内でも目撃情報の増加等、周辺自治体においても確認されている。

令和7年第4回定例会において初の補正予算を計上し、町は今後の熊対策について検討を開始した。「備えあれば憂いなし」対策が決して早すぎるといったことはない。安心して暮らせる大子町であるため、関係機関連携のもと綿密な安全対策の構築を期待したい。

(須藤 明)